



## 令和4年度を終えて

校長 西村 淳

今年度も新型コロナウイルスに翻弄された1年でしたが、24日に令和4年度の修了式を迎えます。3月11日の卒業式では、33名の卒業生がこの二中を無事巣立っていきました。

1学期の始業式で、私は「困難を克服する活力」を持つために「ともかく動いて成長しよう。」という話をしました。新型コロナウイルス感染拡大防止措置により、様々な行事が中止、縮小される中、与えられた制限の中で工夫しながら、卒業生がこれまで築いてきた「浜田二中創り」を生徒会活動、部活動、地域との連携活動などに関して、「覚悟」をもってしっかりと引き継ぎ、発展させる期間にしてほしいと話したと思います。

新型コロナウイルスの影響は、少しずつ緩和されてきましたが、それでもまだ困難は続いています。私たちの学校生活においてもいろいろなことが制限を受けたり、工夫していくことを余儀なくされたりしていて、皆さんも勉強や部活動などにおいてもこれからどうなるのか、不安な気持ちではないかと思っています。そんな時だからこそ、視野を広げ、自分のことばかりではなく、他者を思い、他者から必要とされる行動をして、「困難を克服する活力」を生み出すことが大切なのではないかと思っています。

25日からは春休みです。たとえ困難であっても、今年の今と比べると制限も緩やかになりつつあります。今できることを精いっぱいやる、勇気をもってチャレンジする、そんな春休みを過ごしてほしいと思います。

4月からはそれぞれが新しい学年となります。始業式は、4月10日、入学式は4月11日に行うことにしています。マスクの着用も見直しが始まり、日本中が、少しずつ以前の状態に戻ろうと努力しています。私たちの学校生活も、今年の生徒会スローガン「創造×躍進～今、君から、自分から。～」のように、自ら積極的にあらゆることに挑戦し「みんなとならでできる、前に進んでいく」令和5年度にしていきましょう。

### 第75期 浜田二中 卒業証書授与式

東日本大震災から12年目となる3月11日(土)、令和4年度の卒業証書授与式を挙行了いたしました。様々な人々の思いを胸に新世界への旅立ちの日となりました。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を取りながらも、生徒と職員は、マスクを着用しない時間もありました(国歌斉唱や校歌斉唱時は着用)。卒業生は、コロナ禍での3年間でした。厳粛な雰囲気の中、立派な態度と素敵な表情のある式となりました。保護者の皆様の温かいご支援とご協力にも感謝いたします。思い出に残るすばらしい式になりました。卒業生には、チャレンジ精神で未来を切り拓き、よき出会いの中で更なる活躍と幸多きことを願っています。



### 1年生「自分たちが住んでいる町 浜田を知ろう」

総合的な学習の時間に、浜田の魅力や課題について調べ、「浜田のまちづくりに携わる方のお話を聞く活動を通して、街づくりに携わる方の思いに気づき、地域のために自分たちにできることを考え、浜

田の魅力を発信できる力を身につける。」をねらいとして学習を進めてきました。

事前に5つのテーマについて、各班に分かれて図書やインターネットを利用して調べ学習を行ってきました。2月28日(火)に市役所の浜田市産業経済部の7名の方のお話を聞いたり、インタビューをしたりする活動を行いました。



(生徒感想一部紹介)

- ・『どんちっちのアジ』について、わかりやすく教えてくださりありがとうございました。平成14年に活動が始まっていたので驚きました。これからも、浜田市のどんちっちを守っていききたいし、浜田の活動を知らない人々に伝えていきたいです。
- ・浜田市にたくさんの特産品があってすごいと思ったし、産業振興課の方の取り組みや、浜田市の特産品をアピールされようとしている気持ちが伝わってきました。また、地元事業者の悩みや課題について、生産者の大変さや苦勞されていることがわかりました。とても勉強になりました。浜田市について詳しく調べ興味を持てたらいいと思いました。

## 2年生 総合的な学習の時間「進路学習・ジョブカフェ」

2月28日(火)、10社の社員の方から①様々な職業について、その仕事内容ややりがい等を知ることで、「働く」ことの意義について考える。②社会人の方の話を聞くことで、今の自分の在り方を考えようとする態度を養うことをねらいとしお話を聴きました。参加企業は、①IT…(株)e-Front島根支社、②情報…石見ケーブルビジョン(株)、③福祉…(社福)浜田福祉会、④製造…ケーピー(株)、⑤農業…(有)やさか共同農場、⑥水産…(株)浜田あけぼの水産、⑦建設…(株)九動、⑧飲食…(株)ファンテーブル、⑨電気…中国電力三隅火力発電所、⑩金融…(株)山陰合同銀行 以上10社です。ご協力ありがとうございました。



(生徒感想一部紹介)

- ・4社の話を聞いて、それぞれに課題(人口減少や少子高齢化)があることやコミュニケーションが大切だということがわかりました。
- ・働くということはとても大変だけれど、誰かのために頑張ることが大事だと思いました。自分も社会人になったとき、誰かのために働ける人になりたいと思いました。
- ・自分の生活を守ることが1番だと思いました。そして、自分のした仕事によって誰かが幸せになっていることが「働く」という事だと私は思いました。
- ・自分の興味のないものでも取り組んでみると、自分には見えていない新しい発見があるかもしれないので、色々なことにチャレンジして、将来にいかしたいと思いました。
- ・今回の授業で職場の雰囲気なども知ることができました。将来私がどんな職業についているかわからないけれど、ジョブカフェに来てくださった方のように自分の職業に誇りをもちたいです。
- ・頑張っている人にしかやりがいはない。やりがいは自分でつくるものである。大切なことは“<sup>ほうれんそう</sup>報連相”。若い働き手を増やす必要があるのかなと感じた。



☆1年間「夕日が丘」をお読みいただき、誠にありがとうございました。

文責 大崎